

ノーリツ、11月26日を前におふろに関する意識調査を発表
健康に不安7割以上！30・40代「体重増加」、50代以上「加齢」が1位
9割以上が「おふろは健康管理に役立つ」と実感

～2015年「おふろ de 功労賞」、有名人1位は昨年に続き「安倍総理」！～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金201億円、東証一部上場)は、11月26日の「いい風呂の日」に合わせて、おふろと健康、最新の入浴スタイルに関して地域による違い、外国人と日本のおふろなどの意識調査を実施し、結果を「おふろ白書2015」としてまとめました。有効回答数は2,000人です。本資料は調査の中から一部を抽出したもので、以下のような傾向が明らかになりました。

健康に不安を感じている人は約70%と大多数。30代・40代は「体重増加」、「ストレス」に、50代以降は「加齢」に不安を感じる傾向に。

・健康に不安を感じている人は、2012年度より2.4ポイント増加し、約70%と大多数を占めました。その中で年代別では、30・40代は「体重増加」、「ストレス」に、50代以降は「加齢」に不安を感じる結果になりました。また、日常のおふろが健康管理に役立つと考えている人は約90%に上り、健康維持＝入浴ととらえられていることがわかりました。

おふろ上がりに使用するタオルは全体で「バスタオル」が70%以上に対し、九州では「フェイスタオル」が52.4%と主流。また東海・関東ではかけ湯をしない傾向に。

・おふろ上がりに体をふくタオルは「バスタオル」が71.8%と最も高く、地域別でみると九州では「フェイスタオル」が52.4%と過半数を超えています。また、浴室の行動パターンでは、「かけ湯をする→入浴をする→体を洗う」が最も多い回答でしたが、東海・関東においては「体を洗う→入浴する」、「入浴する→体を洗う」の合計が約50%と他地域より多く、かけ湯をする方がやや少ない傾向が見られ、地域の特性が明らかになりました。

外国人に知ってほしいマナーは、「かけ湯、かかり湯をする」が約50%。外国人に伝えたい日本のおふろの魅力は、「洗い場がある」、「最先端技術」が併せて約80%。

・今年注目のキーワードとなったインバウンドを意識して、外国人に知ってほしいおふろのマナーを尋ねたところ、「かけ湯、かかり湯をする」が約50%と過半数を占めました。また、伝えたいおふろの魅力としては、お湯につかる場所とは別に「洗い場がある」、自動お湯はりなどの「最先端技術」が約80%に上り、利便性の高い日本のおふろの魅力が表れた結果となりました。

おふろといえばリラックス。今年おふろにゆっくりつかってほしい人を尋ねたところ、1位「家族」、2位「安倍総理」、3位に「自分」。有名人では、「安倍総理」、「油井亀美也」、「イチロー」の順に。

・おふろとリラックスということで、昨年に引き続き今年の頑張りたたえて、おふろにゆっくりつかってほしい人を尋ねたところ、「家族」に続き昨年2位だった「自分」を抜いて、「安倍総理」が続き、上位3人で約60%に上りました。有名人に絞ると、安倍総理に続き、今年宇宙に飛び立った油井亀美也さん、メジャーリーグ通算300本安打まで目前に迫ったイチロー選手の順になりました。

本資料は、ノーリツが実施した、全国の男女を対象におふろに対する意識を調査した「おふろ白書2015」の結果から一部を抽出したものです。テーマは2009年、2011年と同じ「おふろと健康」、本年の話題として「最新の入浴スタイル」に関して地域による違いなどを調査しました。

※「おふろ白書2015」全文は当社ホームページからご確認ください。

http://www.noritz.co.jp/library/csr/social/yoku_shokuiku/hakusho/ofuro_hakusyo2015.pdf

調査概要

●調査目的

おふろと健康、日常および地域別の入浴スタイルを明らかにするために実施。

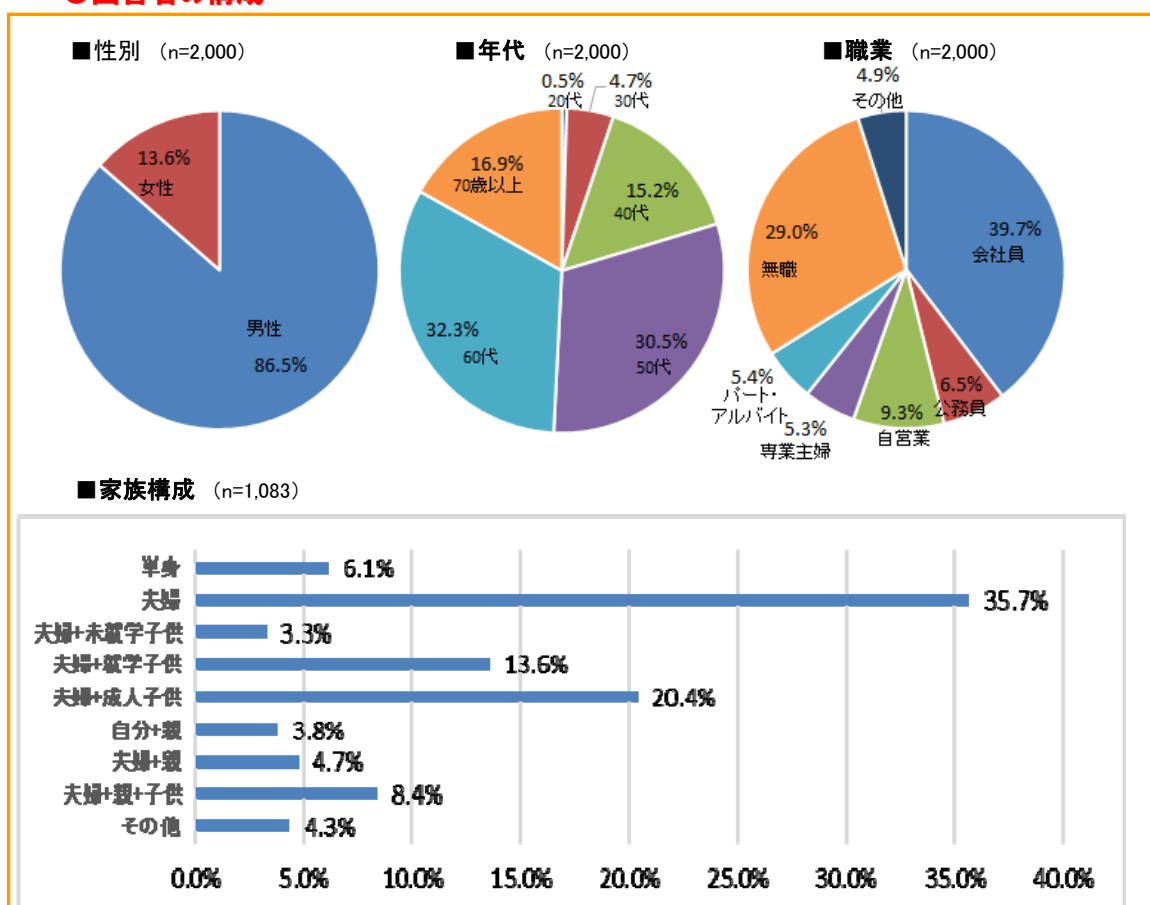
●調査方法

Webアンケート

●調査対象

ノーリツ製品所有者専用サイト「CLUB NORITZ(クラブノーリツ)」会員
(全国の全世代男女)有効回答件数:2,000件

●回答者の構成



●調査エリア

全国

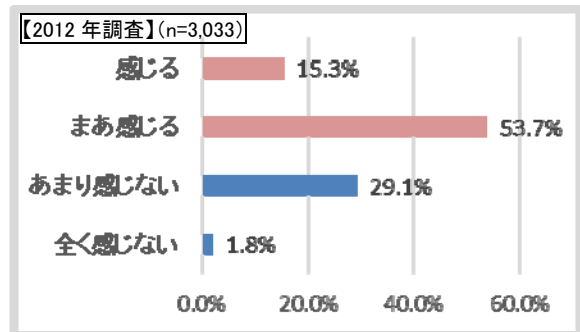
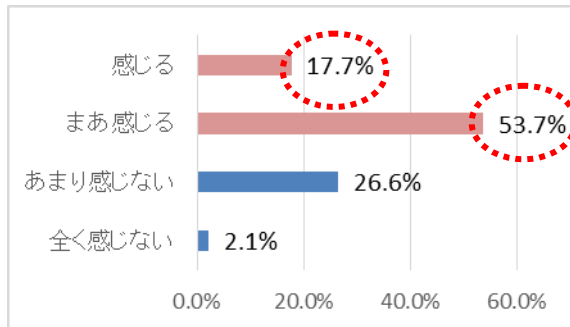
●調査実施

2015年9月11日～14日

(グラフ内のパーセンテージは小数点以下第2位を四捨五入しています。)

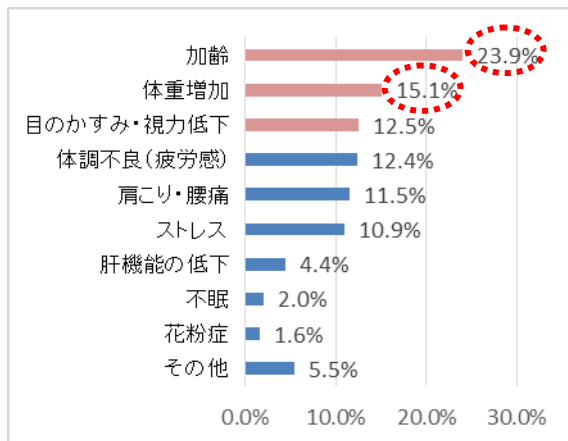
「おふろ白書 2015」結果抜粋

■自分の健康に不安を感じますか？（n=2,000）



●健康に対する不安は、「感じる」が17.7%、「まあ感じる」が53.7%と約70%の方が不安を覚えています。「感じる」と回答された方は、12年度から2.4ポイント増加し、自分の健康に不安を感じる方が増加傾向にあります。

■健康において最も不安なことは？（n=2,000）



年代別 上位3位

<30代・40代>

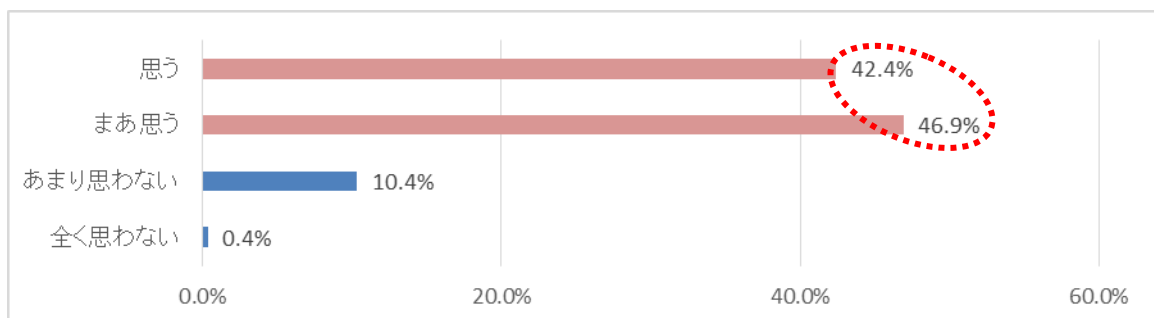
1位	体重増加	28%
2位	ストレス	22%
3位	肩こり・腰痛	10%
—	目のかすみ・視力低下	10%

<50代・60代・70代>

1位	加齢	31%
2位	目のかすみ・視力低下	16%
3位	体重増加	15%

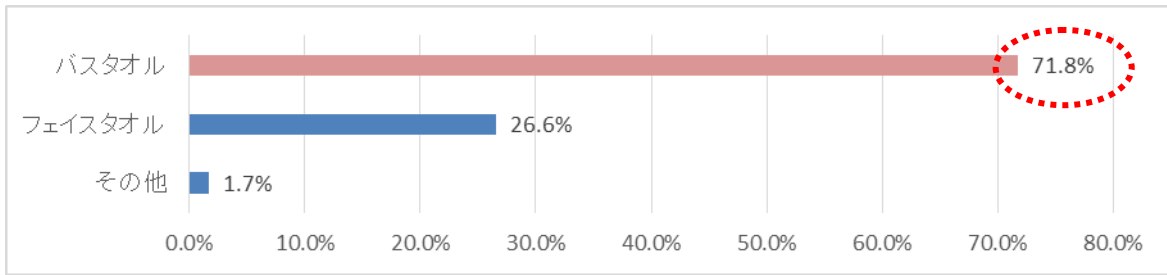
●その不安の中でも、1位の「加齢」が23.9%と大きく突出しています。その他、「体重増加」15.1%や「目のかすみ・視力低下」12.5%なども、加齢が要因の一つと考えられるため、加齢を自覚することによる健康への不安が大きいと考えられます。50代、60代では加齢が突出しており、30代、40代では体重増加についてストレスと回答されている方が多い傾向にあります。

■日常のおふろは健康管理に役立っていると思いますか？（n=2,000）



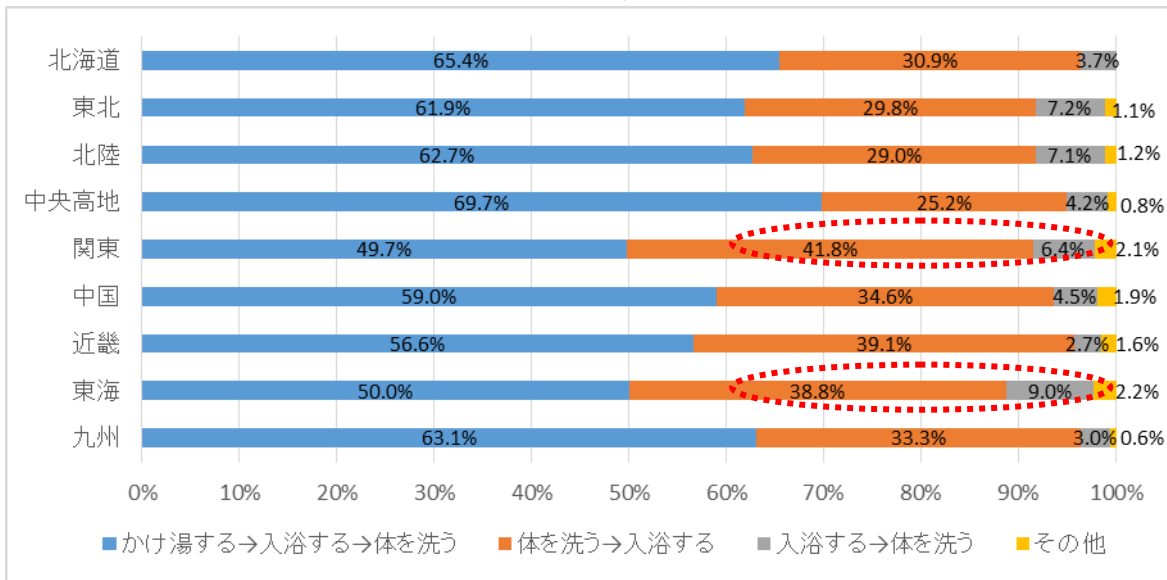
●おふろと健康管理の関係は、「役立っていると思う」が42.4%、「まあ思う」が46.9%と、約90%が関係性を認識しています。そのため、健康維持のために入浴を取り入れている人が多いと考えられます。

■お風呂上がりに体をふくタオルの種類を教えてください(n=2,000)



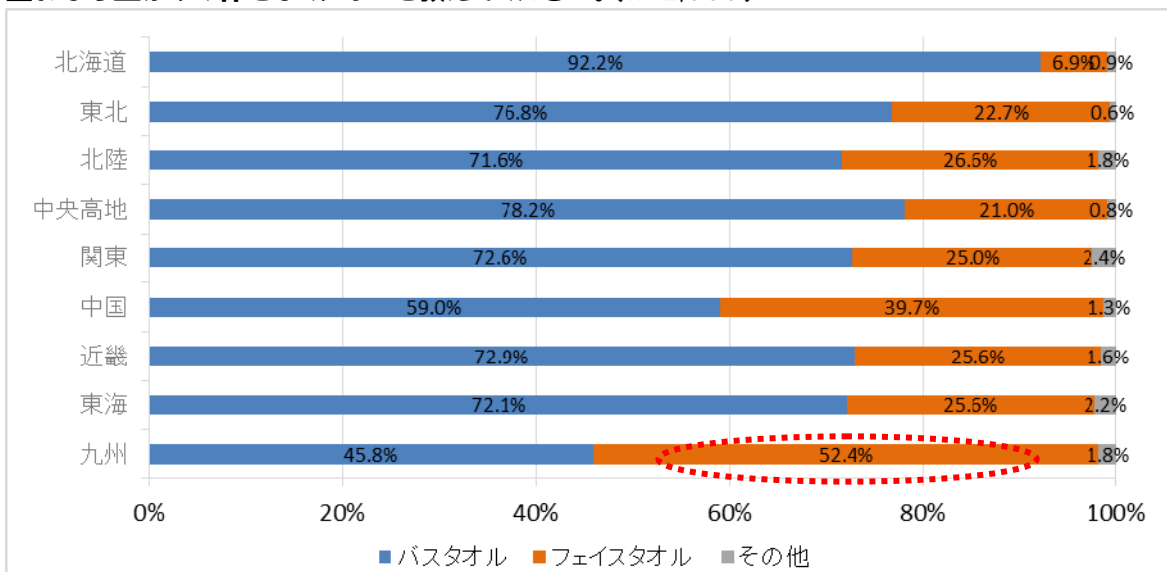
●お風呂上がりに体をふくタオルは、「バスタオル」が71.8%と最も高くなっています。

■入浴の際の行動パターンを教えてください。(n=2,000)



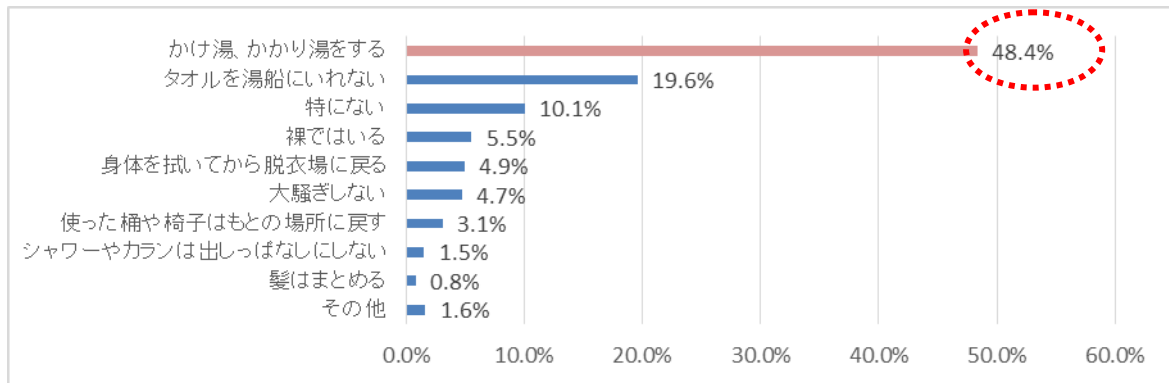
●アンケート結果では、「かけ湯する→入浴する→体を洗う」の比率が全ての地域で最も高くなっています。一方、「体を洗う→入浴する」と「入浴する→体を洗う」の合計は、東海、関東では約50%と他の地域よりも相対的に高く、かけ湯する方がやや少ない傾向が見られます。

■お風呂上がりの体をふくタオルを教えてください。(n=2,000)



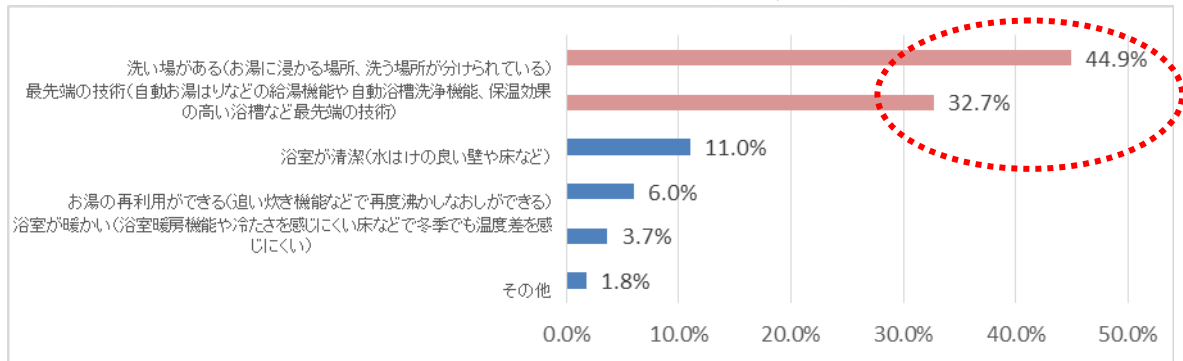
●お風呂上がりに使用するタオルは、「バスタオル」が最も高い傾向が見られますが、九州では「フェイスタオル」が52.4%で「バスタオル」よりも高く、地域特性と考えられます。

■外国人に知ってほしいマナーを教えてください(n=2,000)



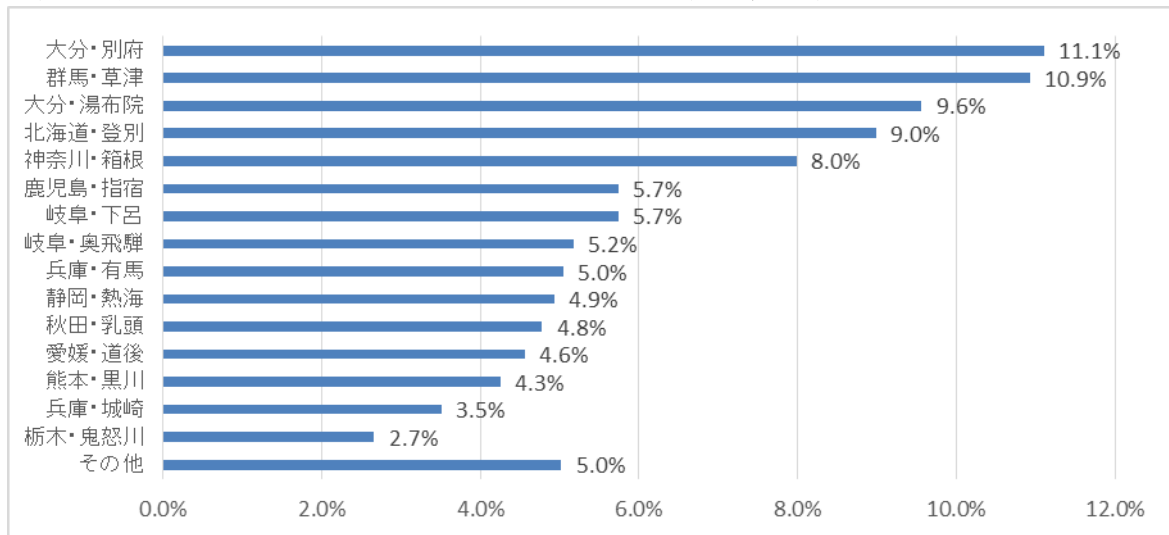
●外国人に知ってほしいマナーは、「かけ湯、かかり湯をする」が約 50%と最も高い回答になっています。

■外国人に伝えたい日本のお風呂の魅力を教えてください(n=2,000)



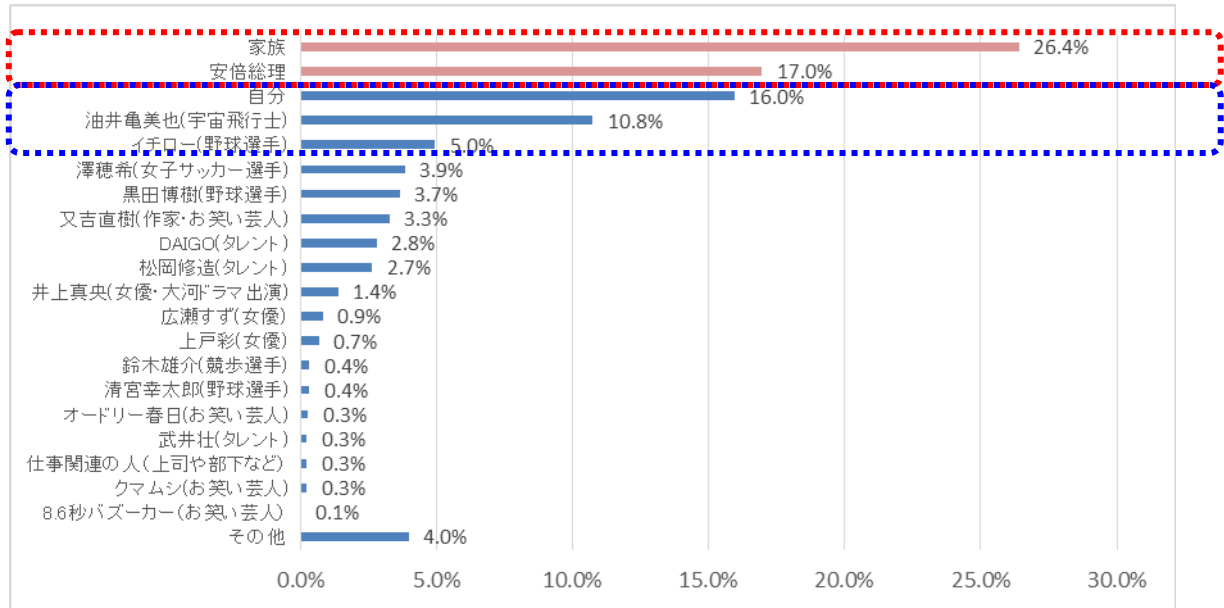
●外国人に伝えたい日本のお風呂の魅力は、「洗い場がある」が 44.9%、「最先端技術」が 32.7%で過半数を占め、利便性の高さが日本のお風呂の魅力として表れています。

■外国人にお薦めしたい日本の温泉地を教えてください(n=2,000)



●外国人にお薦めしたい日本の温泉地は、「大分・別府」が 11.1%、「群馬・草津」が 10.9%、「大分・湯布院」が 9.6%、「北海道・登別」が 9.0%、「神奈川・箱根」が 8.0%と上位にランクインしています。

■あなたが今年おふろにゆっくりつかってほしいと思う人は誰ですか？(n=2,000)



昨年に引き続き、今年頑張ったことをたたえて、ゆっくりおふろにつかってほしい人を尋ねました。

- おふろにゆっくりつかってほしい人は「家族」がトップ！上位の「家族」と「自分」の回答を合わせると、約40%と大多数を占めました。おふろは、「自分」や「家族」をいたわる存在・象徴と考えられています。
- 2位は、3位の「自分」を抜いて「安倍総理」が昨年に続き上位にランクインしました。
- 有名人の中では、「安倍総理」に次いで、今年、宇宙飛行士として活躍された「油井亀美也氏」、「イチロー選手」の順になりました。